

## 大分市水素利活用シンポジウム2021 出演者の紹介

<p><b>大平 英二</b></p>	<p>国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）スマートコミュニティ・エネルギーシステム部 燃料電池・水素室長/ストラテジーアーキテクト、大分市水素アドバイザー</p>
<p>1992年NEDO入構。バンコク事務所次長、蓄電技術開発室室長などを経て、2013年4月より水素関連業務に従事。2021年4月より現職。多くの企業、大学が参画する技術開発プロジェクトのマネージャーとして、水素製造から利用に至る研究開発を推進。その傍ら、数多くの講演活動やメディアへの出演、地方自治体における水素エネルギー普及計画策定のための委員会への参画を通じて、水素エネルギーのわかりやすい情報発信に尽力。</p>	

<p><b>松本 佳久</b></p>	<p>大分工業高等専門学校 副校長（教務主事）/教授</p>
<p>1989年豊橋技術科学大学大学院工学研究科修了。博士（工学）（名古屋大学）。2000年大分高専機械工学科助教授、2008年に同学科教授に就任。2020年より高専機構クロスアポイントメント制度により、大分市三佐の（株）ハイドロネクストの主席研究員も務める。これまで、米国シカゴ・ノースウェスタン大客員研究員や（独）産業技術総合研究所客員研究員・（独）物質・材料研究機構客員研究者を歴任する中、本年4月に大分高専副校長（教務主事）に就任、バナジウムなどの5族金属膜による水素分離・精製の基盤技術などの研究・開発を行っている。日本MRS（The Materials Research Society of Japan）理事。</p>	

<p><b>染矢 安博</b></p>	<p>江藤産業(株) 代表取締役社長</p>
<p>佐伯鶴城高校、立命館大学を卒業し1981年江藤産業(株)に入社。建築事業本部建築部長、EBL営業本部長を経て2013年2月に代表取締役社長就任。現在に至る。 LPガス、電力を中心としたエネルギー事業のなかで太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及にも取り組んでおり、近年は建設事業との両立を図りながら、二酸化炭素排出削減に貢献できる水素社会を見据えて2016年4月に開業した大分県唯一である水素ステーションを大分市乙津町で運営。水素エネルギーの事業化を進めている。</p>	

<p><b>小野 義広</b></p>	<p>日鉄エンジニアリング(株)環境エネルギーセクター 企画部 ゼネラルマネジャー</p>
<p>1992年新日本製鉄(株)入社（2006年日鉄エンジニアリング(株)分社化に伴い同社へ移籍）。廃棄物処理を専門とし、ダイオキシン対策、排ガス処理対策、PFI（BTO）事業の立ち上げ、スラグの有効利用等に従事。2014年より技術渉外業務を中心に活動。社外活動として、日本環境衛生施設工業会技術委員会副委員長、日本産業機械工業会環境装置部会幹事、日本産業機械工業会エコスラグ利用普及委員会副委員長、地球環境技術推進懇談会幹事。最近では、環境省「廃棄物・資源循環分野の2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けた検討会」に委員として参加。</p>	

<p><b>烏山 一成</b></p>	<p>九州経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・エネルギー産業担当参事官</p>
<p>1991年九州通商産業局（現九州経済産業局）入局。1993年～97年資源エネルギー庁及び通商産業省（現経済産業省）において石油及び自動車産業担当。2001年～03年水俣市役所に出向しエコタウンの立ち上げ等に従事。2003年九州経済産業局に復帰後、中小企業対策や地域活性化事業等をはじめ、2013年国際部及び2018年企画課の課長補佐として主に海外展開支援やSDGs関連事業等に従事。2020年4月から現職。現在は九州における環境ビジネスの振興、水素・洋上風力等の産業化、カーボンニュートラルの推進等に尽力。</p>	